

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	生物学実験						授業形態		実験	
科目コード	420710	単位数	1単位	配当学年	1	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長田 隆、岡崎 善三								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は生物・微生物学実験を今後行うための、主な機器、器具の原理や使い方、注意する事項を理解するため行います。まず、生物を観察するため、実体顕微鏡、生物顕微鏡等の操作法を解説し、実験結果を正しくまとめるためのレポート作成法など指導も行う。									
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：生物学概論Ⅰ									
授業の進め方 と方法	授業の冒頭で実習範囲と実習で気を付けるべきポイントについて説明してから実験を行います。実験後は得られた結果から考察結果を論理的に解説することができるように指導します。									
授業計画 【第1回】	ガイダンス									
授業計画 【第2回】	基礎知識 主な実験機器とその使用方法①									
授業計画 【第3回】	基礎知識 主な実験機器とその使用方法②									
授業計画 【第4回】	基礎知識 主な実験器具と使用方法									
授業計画 【第5回】	一般生菌、真菌および大腸菌群の検査法①（器具・培地の調製） 実習									
授業計画 【第6回】	一般生菌、真菌および大腸菌群の検査法②（無菌操作・培養） 実習									
授業計画 【第7回】	一般生菌、真菌および大腸菌群の検査法③（結果判定） 実習									
授業計画 【第8回】	一般生菌、真菌および大腸菌群の検査法④（菌の簡易鑑別） 実習									
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	1. 生物の主要な実験法を習得し、生命活動の観察ができるようになること。 2. 科学的思考や技術を習得している人となること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示しますので次の授業までに確認してください。（約1時間）
授業時間外学習【復習】	授業後には学習内容を十分に理解するための復習として、授業内容に関連した図書・論文・資料等を確認してください。（約1時間）
課題に対する フィードバック	理解が不十分な点は図書館の書籍等を利用して確認してください。確認する内容については授業時間中に伝えます。
評価方法・基準	以下を総合して判定します。 授業態度（100点）
テキスト	生物学実験・食品微生物学実験 実習書（教員作成）
参考書	
備考	食品開発科学科の教職理科教科に関する専門科目指定となっています。